

## 第2章 計画の前提条件

### 第1節 自然的条件

#### 第1 位置

本町は、大阪府の東北端にあつて京都府との府境に位置し、市街地の中心の経緯度は、東経135度40分、北緯34度53分にあつて、大阪平野と京都盆地との接点にある。東は淀川を隔て、枚方市、京都府八幡市と相対し、南及び西は高槻市に、北は京都市、京都府長岡京市及び大山崎町に接している。

町域は、東西約3.3km、南北約8.9kmで、面積は16.78km<sup>2</sup>、その約73%が山地丘陵で占められている。

#### 第2 地形・地質

本町の地形は、淀川沿いの低地と、低地に続く台地・段丘及び山地で構成されており、河川は、一級河川淀川と、淀川につながる一級河川水無瀬川が主たる河川である。

低地部は、おおむねJR東海道本線一帯から東側の地域で市街地となっている地域であり、台地・段丘部は、低地部から西側名神高速道路一帯に続く地域である。この地域においても住宅開発が進んでおり、また、工場・研究所等の立地も見られている。

本町の大半を占める山地部の地質は、丹波層群の古生層からなる基盤岩類で、森林が大半を占めるが、尺代、大沢の集落が分布しているとともに、ゴルフ場等の開発地も見られている。

#### 第3 気候・気象

本町の気候は瀬戸内式気候区に属し、温暖な気候帯にあたり、6月の梅雨期と9月の台風期に降水量が多く、冬期の降水量が著しく少ないことが特色である。同じ町域にあつても北西部の山地と南東部の低地部では高度と地形環境が異なるために気象条件はかなりの地域差があり、山地は低地よりも雨量が多く湿潤であり、温度の高低差も大きい。

地盤種別図

